

## JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年1月14日公開

## ハワイ核アラート誤報

今日の預言アップデートは、ずばり、昨日の北朝鮮の弾道ミサイルに対する警報の誤配信についてです。昨日は恐らく、「あれが起こった日、あなたはどこに居たの？」と、今後語られる日の1つとなったのではないかと思います。私は警報が鳴った時、いつもの土曜日と同様、今日の預言アップデートの準備をしていました。本当は、イラン核協議のその後の展開について、それから、エルサレムがイスラエルの首都であるという事に関して、国連の展開をお話ししようと思っていたのです。その最中に警報がなって、メッセージが来たわけですが、私も最初は「これは、訓練だな」と思ったのです。そしたら、『これは訓練ではありません。』と書いてあるのが見えたので、「そうか、訓練じゃないのか…。」と。そこで私が最初に思ったのは、「わお！先週私は、『もしかしたら、これが最後の預言アップデートになるかも知れない。』と言ったばかりじゃないか！わお！きっと、そうなんだろう。」と。その時、たまたま私の長男も一緒に居たので、家族全員が集まったのです。私がとても励まされたのは、恐れが全くなく、平安だった事です。私達は、自分たちがどこに行くのか知っていますから。なので、事実、聖化されたワクワク感もありました。そして、ある意味がっかりした程で…。いけませんか？ほんのちょっと、「ああ、どうやら、まだ家には帰らないみたいだ…」とったりしませんでしたか？まあ、それは、皆さんと聖霊との間の問題ですから。

ともかく、家族で私達は一緒に祈ったのです。それが、私の祈りはとても具体的で、「もし、これが実際に起きているなら、神が、それを海に落としてくださるように。津波はなしで。」と祈りました。これがとても興味深いのですが、実際にミサイルは発射されたが、阻止されたのだ、という人もいます。それは、私達には分かりませんが、恐らく今後も分からないでしょうが、それだけでも十分興味深い事です。それから、私は祈って Artie と Paula にメールをしたのです。彼らは知っているはずですから。警報が鳴ってから、8分9分経った頃でした。そしたら、感謝な事に、あれは誤報だった事を、彼らが教えてくれたのです。そうになると、また様々な感情が湧いてきました。その1つは、その警報が誤報であったと知らせるのに、なぜ38分かかったのだろうか？きっと皆さんも私と同じようにソーシャルメディアに投稿されている動画をご覧になったと思いますが、その内の一つは、父親が幼い娘を下水管の中に避難させようとしていました。実に胸が張り裂けそうでした。他にも、人々がバスタブの中や、様々な所に避難しようとした様子や、「もう本当にこれで終わりだ」「あとは時間の問題だ」と心底思って、愛する人に別れのメッセージを送ったと言う事なども、報告されました。しかし、38分かかった問題に関しては、ハワイ緊急事態管理局によれば、北朝鮮からのミサイルがここに到達するまで、20分程しかないそうです。そこで私が思った事があります。私達もアメリカ本土に居た時は、避難場所があったのです。本土では、地下室と呼ばれる場所があったのですが、ここでは有りません。これは、私がなかなか慣れる事の出来ないものの一つです。アメリカ本土に居た時、住んでいた家には、どこにも地下室がありましたから。でも、ここでの地下室と言えば、家と砂との隙間だけです。ともかく、ある意味面白かったのでは、色んな人が、避難場所について話していたのですが、「どこに避難するんだ？」「どこに行けば良いんだ？」と。何度も言いますが、人々が命懸けで逃げまどっている姿には、心が張り裂けそうでした。多くの人にとって、これは非常に恐怖だったのです。

しかし、ここで問うべき問題は、「もし、これが誤報でなければ、どうなっていたか？」

今朝の祈祷会で、これについて話していたのです。少なくとも、今は人々がこれについて考え、話をしていて、これは確かに良い事だと思います。しかし、多くの人が密かに怒りを感じているでしょう。恐らく、それも当然だと思います。

「何で、こんな事になったのか？」「何故、そんなに時間がかかったのか？」

それから、私が思い巡らせていた疑問があります。もし、次にまたこれが鳴った時、今回は誤報だったが、人々はとっさに、どう反応するだろうか？「狼少年」のように、ならないだろうか？それからさらに考えていたのは、ここには、津波の監視人がたくさんいて、津波警報が鳴りながら、実際には起こらなかった事が多々あります。もうずいぶん前ですが、初めてそれがあった時の事を思い出していました。あの時は、皆がしかるべき形で反応していましたが、それが何も起こらず、そして、またどこかで地震が起こって、また津波の可能性が出た時には、皆それほど素早く反応しませんでした。それだけでなく、「またか…」という人もいて、全く反応しませ

んでした。これが問題であり、よく考えるべきだと思うのです。昨日、ソーシャルメディアを調べていたのですが、ツイッターを覗いていました。時々自分でも、どうして未だにツイッターをしているんだろう？と思います。全く、くだらない事ばかりで。ただ、それらをかき分けて見ていくと、このような出来事に関して、人々が何とやっているのか、何となく見えてくるのです。カナダ人のカップルが、休暇で来ていたハワイで、ウォッカと、“I Love You メール”で終わりに備えた、と言います。そのツイートが紹介されている記事を、少し読んでみましょう。

——残り10分の命。そこで彼らは、有効にそれを使った。彼らは着替え、水と薬をカバンに詰め、そして“I Love You メール”を故郷の家族に送った。それから、互いにハグして、ウォッカを2ショット飲んだ。——

その記事の最後の方で、彼らが伝えているのは、このような状況の中で、1杯では足りなかったとの事。

——それから彼らは、弾道ミサイルが到達するのを待った。このようにして、ハワイにバケーションに行っていた、地元のカップルの土曜日が始まった。まさに、パラダイスと呼ばれる場所だ。——

それから、この男性の言葉が引用されています。

——「神に償いをした。」——

これは、自分はまだまだもう1日生きられるのだ、と分かった1時間後に彼が言った言葉です。

次もまた、ガーディアンズのツイートで、タイトルは「ハワイの弾道ミサイル誤報は、パニックとウイスキー飲酒を引き起こした。」少しだけ読んでみます。ここから、私がどこへ向かおうとしているのか、皆さんも、間もなく見えてくると思います。

——ある人にとっては、世が終わると言う考えは、自分を甘やかす機会となった。警報が鳴った時、Joshua Keoki Versolaは、フィアンセを仕事場から家に送るまでの時間を、Mililaniの家で、一人で待っていた。35歳の、ネットワーク技術者は、賞に輝く日本の高級ウイスキー「響21」のボトルを開けた。「それを飲み干してから、華々しく散るところだった。」と彼は言う。このような、なす術もない状況で、ただ最善を尽くそうとする時、我々は何をやるだろうか？——

良く聞いてください。私がこれをお伝えしているのは、クリスチャンとして敬虔さをひけらかして、人を裁くためではありません。私がこれをお伝えしているのは、このJoshuaのような人の為に、私達は祈らなければならないからです。このような反応をした人達を、私達が見下してしまうなら、それは、大変な間違いです。考えてみてください。私達も、救われる前は、同じ事をしていたでしょう？使徒パウロが、コリントの教会に言った事を思い出します。ホモセクシャルを含む、恐ろしい罪の数々を彼は書き出して、それから、コリントのクリスチャン達に次のように言っています。

“あなた方の中のある人たちは、以前はそのような者でした。”（第一コリント6:11）

あなた方が、今はそうでないのは、神があなたの人生を変えて下さったから。しかし私達も、クリスチャンになる前は、このように反応していませんでしたか？瓶に手を出しませんでしたか？アルコールの瓶であれ、薬の瓶であれ、あるいは両方であれ。私は、迷い出ている人達に手を伸ばすのは、私達の義務であると思っています。特に、ここハワイでは。また、警笛と言えるような出来事の後には特に。あれは、まさにそうでしたから。私がこれからお話しする内容で、また批判を受けるであろう事は分かっています。それでも、私は止めませんが。昨日、これが起こった事に、様々な意味でも感謝しています。と、言っても良いですか？もう言ってしまったが。その理由をお伝えします。私は、神がこれを使われると思っています。さらに言えば、これからも神は、続けてこれを用いられるだろうと思います。人々の気をひく為に。ハワイだけでなく、世界中で、です。私はツイートや他のソーシャルメディアで、世界中の人々が投稿している内容に、かなり感動したのです。本当です。きっと私と同じように、皆さんも、ニュースで聞いたたくさんの友人たちから、メールや電話などで連絡を受けたでしょう。アメリカ本土に居る私の友人の一人からは、こんなメールが届きました。「明日、先生の預言アップデートを聞きたいと思っている人が、たくさん居ると思いますよ？」

ともかく、この緊急速報が入った時、多くの人が、永遠の現実に直面したはず。だから、これは、私達クリスチャンの義務だと思うのです。私も含めて、牧師たちの義務である事は確かです。今朝、私は主に、今日牧師

たちがこれについて語るようにして下さい、と祈りました。これは、逃してはならない大きなチャンスです。備えをする事について語るには、素晴らしい機会じゃないですか。我々の中にある希望について、皆に答えるには、絶好の機会じゃないですか。

さらに一步踏み込んでお伝えしたい事があります。皆さん、ご存知である事を願いますが、私は自分自身を、牧師である前に、クリスチャンとして見えています。主が、私を牧師として召されるずっと前から、私はクリスチャンだったのです。私は何よりもまず、皆さんと同じクリスチャンです。私は、皆さんのようには見えませんが。その事に対して、皆さんは神を賛美すべきですよ。ともかく、私も、皆さんと同じ、キリストにある兄弟です。そして、クリスチャンとして、私達にはこの警報が必要でした。私達に、この警報が必要だったのです。私達は、目を覚まさなければなりません。私達は、好むと好まざるとも、また、私達に自覚があろうと無かろうと、私達が認めようと認めなかりと、私も含めて、私達の誰もがうとうとして、霊的にもうろうとした状態に陥る傾向にあるのです。聖書の中で、私の大好きな聖句の一つに、私達が良く見ているローマ 13:11-14 があります。もちろん、聖書全体が好きですが。ここで、使徒パウロがローマの教会に書いており、次のように言っています。

“あなた方は、今がどのような時か知っているのですから、このように行いなさい。あなた方が、眠りからさめるべき時刻がもう来ています。” (ローマ 13:11)

「来つつある」のではなく、もう「来ている」と彼は言っています。何の時刻が来ているのでしょうか？あなた方が**眠りからさめるべき時刻が**、もう来ているのです。つまり、「あなた方は眠っている！」と言っているのですよ。ちなみに、彼は、世に向かって言っているのではなくて、教会に言っているのです。彼は、ローマのクリスチャン達に宛ててこれを書いていて、言っているのです。「**起きなさい！！**」あなた方は眠っている！目を覚ましなさい！と。何故だか分かりますか？

“というのは、私たちが信じた頃よりも、今は、救いが私たちにもっと近づいているからです。夜はふけて、昼が近づきました。ですから、私たちは、やみのわざを打ち捨てて、光の武具を着けようではありませんか。遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活でなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。” (ローマ 13:12-14)

昨日、私達が経験した事で、すごく興味深かったのは、人々がその瞬間、瞬時にこれについて考え、目を覚ましたのです。このような事が起こると、皆が霊的になるのが、面白いと思いませんか？いいえ、違いますよね。ソーシャルメディアは果てしなく不快なものですが、昨日私が読んだ投稿の中には、彼ら、イエス・キリストの御名を冒瀆する、汚れた口から、神の事が語られていたのです。彼らは、全能の神に向き合わなければならないという、現実に直面したのです。そして、これが起こったのです。私達は「Wake up call/警告・目覚まし」という言い方をしますね。アラームが鳴っていますから。しかし、問題があるのです。目覚まし鳴ったら、どうしますか？私達は何をするのでしょうか？一旦停止のボタンを押すのです。そして、また眠ってしまいます。そしてそれは、確実に、今日この教会に居る私達一人ひとりの中でも傾向であり、また癖となっているものです。

注目に値するのが、FOX ニュースで、当然の事ながら、朝から午後までは、これについて報道していました。そこで私は、彼は一日中それについて報道するのだろうかと思っていたのです。それが、多分2時くらいだったでしょうか。CNN については、私には分かりません。申し訳ないですが。以前は、音を消して CNN を観る事が出来ていましたが、今はもう、それすらも出来ません。私の中から、聖さが吹っ飛ぶのです。ともかく、午後2時ごろだったと思いますが、唐突にすべてが、政治のゴタゴタに戻っていったのです。あっという間に、古いニュースと化してしまう。あっという間です。そして、確実に非難の矛先が、アメリカ合衆国の大統領、ドナルド・J・トランプに向くのです。ある男性が、ツイッターで投稿していましたが、「これのどこが、トランプの責任なのか、具体的に説明してください。」と。

さて、私達の希望は、私達は、目覚ましを止めて、また眠り、霊的にまどろむ人達の仲間入りしない事です。もう時間はありませんから。皆さん、私の心はご理解くださっていると思いますが、私は、センセーショナルに挑

発しようとして、こんな事を言うのではありません。しかし、次の事を考えてみてください。いずれ、核攻撃は起こります。ところで、携拳で言えば、警報が鳴ってからの時間の余裕など、ありません。瞬く間です。瞬きではないのです。瞬きなら時間の測定ができますが、瞬く間と言うのは、目の中のきらめきのようなものです。時間で言えば、1000分の1ほどです。それほどに、あっという間なのです。あれが誤報だと分かってから、妻が言いました。携拳が起こる時は、警報なんてものはないのです。警報は一切なく、突然起こるのです。それも、一瞬にして起こります。

つまり私が言いたいのは、聖書預言が、まさに私達の目の前で、同時進行で起こり始めているのを、私達は目撃している、という事です。それも、ものすごい速度で。このようになる、とまさに伝えられていた通りです。ヨハネの福音書13章で、イエスは言われました。これは意識ですが、「事が起こる前に、わたしはあなた方に、何が起こるかを教えておこう。そうすれば、それが起こった時、あなた方は信じるだろうから。」それから、ルカの福音書21:28で、イエスがこう言われました。

“これらの事が起こり始めたなら、体をまっすぐにし、頭を上げなさい。贖いが近づいたのです。”  
(ルカ 21:28)

聖書の3分の1近くが預言であると、皆さんはご存知でしたか？ これから何が起こるのか、私達には、聖書全体を通して、実に詳細に告げられているのです。「核戦争が起こる」という事まで、詳細に告げられているのですよ。別の言い方をすれば、核兵器が存在する、という事です。そして、現在世界中で起こっているすべての事を、聖書のレンズを通して預言的に見ると、我々の知る通り、今は、世界史上最後の瞬間に来ている、という結論に至るはずですよ。

しかし、問題は、誰も気にも留めていないようなのです。なぜか。なぜなら、人々が、霊的に眠っているからです。皆さんも、寝ている時は周囲で起こっている事に気づかないでしょう。眠りの浅い人でも、寝ている間に起こっている事には警戒していません。これが、聖書の中で例えを用いて、説明されている事です。霊的に眠っていると、私達は周りで起こっている事が分からないのです。反対に、私達は目覚めていれば、周囲で何が起こっているか、実に良く分かります。それが起こっているのが、見えますから。しかし、眠っていると、見えない。目を閉じていますから。そして、警戒していませんから。

ものすごく興味深い記事を見つけました。月曜日の Jerusalem Post の記事です。その中で、Bill Koenig 氏の言葉が紹介されています。私は、去年10月の預言カンファレンスで、オクラホマに居た時、彼と奥さんにお会いする機会に恵まれました。その彼が、Jan Markell さんの「時代を理解する」ラジオ番組に出演しています。皆さん、ぜひ先週末の Jan さんのラジオの Bill Koenig 氏と、Laurie Cardoza Moore さんの話を、全部聞いてみてください。

その理由と言うのが、Jerusalem Post が書いている内容なのですが、Koenig 氏によれば、「**聖書が現実となっているが、誰もそれに気づいていない。**」

そこに紹介されている、Koenig 氏の言葉によれば、

「**聖書預言の歴史の中で、最も興味深く重要な時期に居るのに、教会のほとんどが、興味を持っていない。**」

「今日、あまりにも多くの妨げがあって、人々が実に様々な方向に引っ張られている。情報は過多で、私が驚いたのは、関心を持っている人があまりにも少ない事だ。」

この Jerusalem Post の記事の一部を紹介します。

——「Jan Markell の時代を理解する」ラジオ番組で、この週末、Koenig 氏が Olive Tree Ministry の創始者に語ったのは、「教会に通う人の中で、エルサレムがイスラエルの首都であるとの宣言や、ダニエル9:27に書かれている、和平協議提示の可能性といった、トランプ政権が導いた出来事の、重大な意味を理解しているのは、ごくわずかだ。」——

記事は、続けて Jan Markell さんの言葉を引用して伝えています。

——「福音派の教会、置き換え神学や、無千年王国説や、過去主義などの節から脱したという宣言にも関わらず、

ところで、この偽神学について聞いた事の無い方に補足しておく、置き換え神学というのは、教会が、イスラエルに置き換わって、神の選民となった、という説です。これは非常に危険な神学です。実際、この島にも、置き換え神学を説く教会はいっぱいあります。よく知られている教会です。それに、無千年王国説、過去主義というのは、非常に不快です。私は、意図的にこの言葉を使ったのですよ。過去主義とは、聖書の預言はすでに全て成就されているという説です。未だに、私達のYouTubeチャンネルには、コメントが入ります。「お前たちは、バカだな。」バカとは私の事。「お前たちはバカか。預言は全部、西暦1世紀にすでに起こっているんだ。」

話を戻します。Janさんが言いました。

——「こういった神学は、未だに礼拝で語られていて、その結果ほとんどの人が、聖書が現実となって来ている事が、分かっていないのです。」——

国連の世界単立キリスト教教会協議会代表であり、Evangelical Organization Proclaiming Justice to the Nations（国々に正義を宣言する福音派団）の代表取締役である、Laurie Cardoza Mooreさんもまた、Markellさんに言いました。

——「これは、クリスチャン達、牧師さえもが、イスラエルに関するメッセージや、聖書的な責任について常に耳を傾けておらず、気にも留めていないからだ。」——

ちなみに、さらに言うなら、昨日我々がハワイで経験したのは、イスラエルでは、毎日起こっている事です。これ、よく考えてみて下さい。

最近、Cardoza-Mooreさんは、フランスの新聞に、ヒューストンのメガ教会の牧師のインタビューについて、話しています。誰の事だか、察しがつきますね？ジャーナリストは言ったのです。

——その牧師は、エルサレムに関する、ドナルド・トランプ大統領の決断を非難しました。その牧師はこう言ったのです。『クリスチャンが、古代の本を取り上げて、独自の解釈をするのは、拡大解釈だ。』だから私は、レポーターに言ったのです。「すみません？その牧師の言う“古代の本”とは、もしかして聖書の事かしら？」すると、レポーターは笑ったのです。私は言いました。「その牧師は、本棚から聖書を取り出して、ホコ리를払い、初めからもう一度、読み始めるべきですよ。」——

さらに加えるなら、私達一人ひとりが、これがするべきでしょう。そして、私は神を讃え、神に感謝していますよ。皆さんは、それをしていますから。だから、皆さんはここに居ます。そうでなければ、皆さんはここには居ませんよね？考えてみてください。

ともかく。私が言おうとしているのは、こうです。もし、昨日のような誤報が人々の気を引くために必要なら、そうならば良い。起これば良いのです。手遅れになる日が、どんどん近づいているのです。それが起これば、あっという間に起こります。その時には、一切時間がないでしょう。昨日起こった事は、神のあわれみと恵みだったと、私は心から信じています。私が言う事を、皆さんよく考えてください。ただこれが、誤報であったというだけでなく、それ以上に、これによってあるいは、これから起こる事に関して、これが、最後の警告となる可能性は十分にあります。先ほども言いましたが、私は、煽るつもりもなければ、センセーショナルに伝えるつもりもありません。ただ、愛をこめて真実を伝えているだけです。愛するがゆえに、真実を語るのです。

それから、「良い意味での恐れ」というものがあると言えませんか？主を恐れるのであれば、それは良い事です。これは箴言9:10で、そこには、こう書かれています。

“主を恐れることは、知恵の初め。聖なる方を知ることは、悟りである。”（箴言9:10）

もし、恐れによって、誰かがイエス・キリストの救いに至るなら、それは聖なる方イエス・キリストを恐れる、聖なる恐れであり、それは良い事です。私が思うに、昨日、私達はその例を見たのです。天のこちら側では、私達には分からないでしょうが、あの瞬間に、どれだけの人が主に立ち返ったか。天のこちら側では、昨日、ここハワイで、また世界中で神がされた事が、私達には分からないでしょう。

もう一つ、これに関して、私の大好きな例は、使徒の働き16章です。お読みしたいと思います。

“真夜中ごろ、パウロとシラスが神に祈りつつ、賛美の歌を歌っていると、他の囚人たちも聞き入っていた。”（使徒の働き16:25）

先週、私達は、この話をしたところです。ちょうどエペソ人への手紙の学びが始まったところで、パウロが、エペソ人への手紙を書いた時、彼は、ローマの牢獄に居たのです。そして、ここで使徒パウロの生活が垣間見れるのです。彼は牢獄に入れられながら、神を賛美している？ 賛美の歌を歌って？ 牢獄されている時に？ 26節は、特に最初の部分を、よく注意して見ていただきたいのです。

“ところが突然、——”

私はこの言葉が大好きですよ。皆さん、ご存知だと思いますが。それに、皆さんもきっと大好きでしょう。これは聖書預言の事になると、聖書の中に、何度も出てくる言葉ですから。それは突然起こります。

“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのような時に、突如として、滅びが彼らの襲いかかります。ちょうど、妊婦の産みの苦しみが臨むようなもので、（彼らは）それを逃れることは出来ません。”  
(第一テサロニケ 5:3)

そして、使徒の働き 16:26 に戻ります。

“ところが突然、大地震が起こって、獄舎の土台が揺れ動き、たちまち（これも突然を表す言葉です）扉が全部開いて、皆の鎖が解けてしまった。” (使徒の働き 16:26)

神がこれをされる時、わくわくしますね。

“目を覚ました看守は、見ると、牢の扉が開いているので、囚人たちが逃げてしまったものと思い、剣を抜いて自殺しようとした。” (使徒の働き 16:27)

へえ。彼は、目を覚ました。そして、自殺しようとした。何故だか分かりますか？ローマの看守が、囚人を逃がした時、その罰は何だだと思いますか？死刑です。だから彼は、囚人が逃げた、彼らが自由になった、と思った時、自分は死んだも同然だ、なら、今死んでしまおうと考えたのです。しかし、

“そこでパウロは大声で、「自害してはいけない。私たちはみなここにいる。」と叫んだ。”  
(使徒の働き 16:28)

ローマ人看守の声が聞こえるようですね？「みんな居るの？」「本当に？」「約束してくれるの？」—「はい！私達はみんな居ます。だから自害しないで！」。そこで、看守の反応といえば、これがすごいんです。

“看守はあかりを取り、駆け込んで来て、パウロとシラスとの前に震えながらひれ伏した。”  
(使徒の働き 16:29)

聖なる恐れです！！そして、次に出てくる質問が大好きです。この質問が本当に大好き、この質問が、ものすごく大好きです。私達も、こんな風に聞かれないと思いませんか？その質問とは何か？

“そしてふたりを外に連れ出して、「先生がた。救われるためには、何をしなければなりませんか」と言った。”  
(使徒の働き 16:30)

こんなに簡単だったら良いのに、と思いませんか？近所の人がやって来て、「あら、こんにちは」「救われるためには、何をしなければなりませんか？」と聞いてきたら、私達は、すぐに対応出来ますか？私は、どうだろうかと思うのです。現実を見ましょう。正直に言いましょ。私達はものすごく不意を突かれて、引いてしまいませんか？「いやあ、あの…、ああ…」と。31節にある、答えを聞いてください。用意は良いですか？救われるために、何をしなければならぬか？——まず、家の教会で水曜の夜に行っている、12週間の講義の申し込みをし

て、それを受けなければなりません。そして、水の洗礼を受けなければなりません。それから、私達の按手を受けなければなりません。それから、教会の会員になる為の同意書にサインしてください。――

ある話を思い出します。教会に拒絶されて、失望させられたある女性が、すっかり腹を立てて、公園のベンチに座っていたら、そこへ主が来て言われたのです。「私の愛する者よ。どうしたんだい？」そこで彼女は言いました。「ああ、主よ…。私はこの教会の会員にすごくなりたかったので、何をすれば良いのかと彼らに聞いたのです。そして、この講義を受けなさいと言うから受けました。そして、会員にしてくださいと言ったら、ダメだと。そして、まだこれをしなければならぬと言うから、それをしたんです。そして、会員にしてください、と言ったら、ダメだ！と言われ。まだ、あれをしなければならぬ、と言うから、私はそれをして、今度こそ会員になれるかと彼らに聞いたのです。そして、彼らはダメだと言って、まだこれをしなければならぬ、と。私はもう、どうすればこの教会の会員になれるのか、分かりません！」それに対して、主が答えました。「おお、愛する者よ。心配しないで。わたしも、あの教会の会員にはなれなかったよ。」

私達はこれを聞いて笑いますが、残念ながら、これは事実ではないでしょうか？私達が、ものすごく難しくしている。ここに、こんな表現をして申し訳ないですが、この人は地獄の恐怖を味わったのです。文字通りに。そして、聞いているのです。「私には、救われるためには、何をしなければなりませんか？」答えを聞いてください！「信じなさい！」

“「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。”

(使徒の働き 16:31)

それだけですか？そうです。本当に？はい、これだけです。しかも、**あなたが救われるだけでなく、あなたの家族も救われるのですよ。あなたがすべき事は、ただ主イエスを信じるだけ。**これが福音です。これが、イエス・キリストによる救いの福音、子供にでも分かるほど簡単です。

「次に何を言うのか、もう分ってるよ。」とみなさん思っているでしょう？素晴らしい。私は本当に嬉しいです。これで、今回私の言った事で、みなさんの近所の人々が来た時に、伝える事が出来るのです。みなさん、私は預言者ですよ？先週、あれが最後の預言アップデートかも知れない、と言ったら、もう少しでそうなるところだったのですから。38分間だけ。次に何が起こるかと言うと、神が、誰かを皆さんの前に送り込まれますよ。その時、皆さんが彼らに答えて、皆さんの中にある希望について伝えられるように備え、勉強されるようにと私は祈りますよ。それは、ものすごくシンプルです。それに恐らく、現在、少なくとも今は、人々が聞きたがっていると、皆さん思いませんか？明日、皆さんが仕事に行かれた時、どうされますか？彼らは、皆さんがクリスチャンだって事を知っています。面白いと思いませんか？何か苦難が起こると、彼らが行くのは、皆さんの所なのです。それまでは、彼らはあなたの事をバカにしたり、嘲ったり、からかったり、あなたの事をジョークにしたりしているでしょう。ところが、今回のような事が起こると、彼らが電話するのは誰だと思いませんか？彼らが近づいて、祈ってほしいと頼むのは、誰だと思いませんか？

もう何年も前、アメリカ本土での話ですが、当時私は、メルセデスベンツの会社で働いていて、そこに居た男性は、ものすごいやり手のトップセールスマンでした。すごく偉そうにしていたのです。そこへ私が入って来たのですが、私は20代で、彼は60代でした。彼は私を見下げて、「この若造が」「俺が現実を教えてやろう」という感じで、はっきり言えば、同僚としての私達の関係は良くありませんでした。それがある日、彼が医者から診断を受けた時、彼が行って、祈って欲しいと頼んだのは、誰の所だったと思いませんか？私の所です。私の所。私が何の事を言っているのか、皆さんなら、はっきりと分かるでしょう？

だから今、今日、私達は、あのローマ人の看守のように、今週、神が皆さんのところに誰かを送り込まれるのに備えませんか？いつかは分かりませんか？私には、いつかは分かりません。明日かも知れないし、今日かも知れませんか？今日、備えをしませんか？私達が、彼らに伝えられるように。彼らに、答えられるように。その希望を、彼らに与えられるように。子供でも分かる、“子供じみた”ではありませんよ。まさに、子供のようにシンプルな、救いのABCです。

このローマ人看守の事を、私は考えていたのですが、彼はAをして、Bをして、それからCを行いました。たった1つの質問で、です。



彼はこの3つを行いました。

**A=A=Admit/認める、Acknowledge/認識する**

なぜかと言えば、彼は、自分が罪びとであり、救い主が必要である事を、認識し、認めたのです。「救われるために、私は何をしなければなりませんか?」「私には、救い主が必要なんだ!」彼は、それほど死に近かったのです。彼は、死んでいたのですよ。彼には、ほんの数分しかなかったでしょう。きっと一桁ですよ。その間に、これらすべてが起こるのなら。彼は、救い主が必要である事を、認めました。ローマ 3:10 にはこうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」” (ローマ 3:10)

真実はこれです。どうかよく聞いてください。特に今日、ここを訪れている方、あなたが今までに一度も、主の御名を呼び求めた事がないなら、どうかしっかりと聞いてください。1つも聞き漏らす事のないように。私の言う事に注意深く耳を傾けてください。あと少しで終わりますから。私がこれから言う事を、よく聞いて下さい。**私達は、誰もが罪人として生まれたのです。だから、私達は新しく生まれなければならないのです。**ヨハネ福音書 3章で、イエスが言われました。

“人は新しく生まれなければ、神の国を見ることは出来ません。” (ヨハネ 3:3)

霊的に新しく生まれるのです。神の御霊によって、新しく生まれるのです。私達が、キリストにいのちを捧げると、彼が、私達に御霊をくださり、私達の内に住まわれます。そうすれば、

“誰でもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古い者は過ぎ去って、見よ。すべてが新しくなりました。” (第二コリント 5:17)

すべてが新しくなるのです。私にとっては、1982年でした。当時私は19歳でした。もう一度19歳になりたい…いや、なりたいたとは思いませんね。もう一度19歳にはなりたくない。19歳の子供がいますが、自分がまた19歳にはなりたくないですね。

ある日私は、極限まで来ていて、その時思ったのです。「自分は、もし今夜死ねば、天国には行かないだろう。」AC/DC (ロックバンド) が私に言った通り、私は「Highway to Hell/地獄へまっしぐら」だと確信していたのです。そして、今でも覚えています、あの夜祈ったのです。これについて、私は全く自慢にも思っていないので、どうかご理解ください。私は祈った時、泥酔していて、とてもハイになっていました。そして私の祈りは、基本的には、ろれつの回らない叫びでした。「神様、僕は、地獄へは行きたくありません。」こうして、私はキリストに立ち返ったのです。「どうか、僕を地獄へ送らないでください。僕は、地獄へ行きたくありません。」私は、祈りながら眠ってしまいました。翌朝、目が覚めると…、聞いてください。私はお酒と、タバコと、クスリが無くては、1日が始まらなかったのです。私は、あらゆるものに依存していました。なので、この3つに手を伸ばそうとした時、私の中に聖霊が居て、小さくささやく声で、言ったのです。「もう、あなたにそれは必要ない。」—「そうなの!？」それまでに私は、何度も何度も止めようとしたのですよ。自分の意志の力で。ゼカリヤ 4:6 にはこうあります。



“『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』と万軍の主は仰せられる。”（ゼカリヤ4:6）

それが35年前の事です。それ以来、一度も後ろを振り返った事はありません。これは、神にしか出来ない事です。神が、聖霊としてあなたの中に住まれ、神が、あなたの内外を清めてくださる。これが、聖霊による聖化の過程です。あなたが霊によって新しく生まれた時の、聖霊の力です。ローマ3:23にはこうあります。

“すべての人は、罪を犯したので——”

新約聖書の原語であるギリシャ語の、この「すべて」は、何だかご存知ですか？私はここで、ふざけるつもりはありませんよ？しかし、「すべて」の意味は、「全て」です。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、”（ローマ3:23）

これは、的を外すイメージです。実際、アーチェリーの用語なのです。ちなみに、罪とは「的を外す」事です。私達は、神の栄誉を受けられない。神の完璧な義の基準から、もれてしまったのです。私達の全員が、です。そして、ローマ6:23で、今度は求刑に直面します。良いですか？私は、神の栄誉を受けられず、私は、神の完全なる義の基準を侵しました。私は、神の律法を犯しました。私は、求刑通り有罪です。では、刑罰は何か？それは、死刑です。「これは、かなり悪いニュースですね？」そうですよ。これは正しい英語ではありませんが、メールしないでくださいよ。

「悪いニュースが悪いければ悪いほど、良い知らせが良くなる。」

だから、時に悪いニュースから伝える事が大事だと、私は思うのです。それが、律法の仕事ですから。律法は、私達に、聖なる義の神の御前での、私達の姿を見せつけます。そして、私は神の律法を犯したと気づいた時、私は罪を犯し、神の栄誉を受けられない、的を外した事に気づきます。そして、その刑罰が死刑であると分かった時、私は、救い主の方に駆り立てられるのです。

私は次の描写が大好きなのですが、彼は、裁判所に来て、裁判官に言います。「彼／彼女に宣告された死刑は、わたしが支払う。」そして裁判官は、あなたの方を見て、ものすごく重大な事を言うのです。「何を言うのですか！？」裁判官は言うのです。ところで、これが福音の意味ですよ。

「良い知らせがある！あなたの債務は支払われた。あなたは自由だ。行きなさい。」

そしてあなたは、その裁判所を、宇宙一自由の身として出ていくのです。他の人が、あなたの代わりに、死刑を受けてくれるから。それを、イエスがして下さったのです。

あなたは、有罪と宣告されました。しかし、彼が言ったのです。

「あなたのその罪を、わたしがかぶる。そして、あなたに宣告された死刑を、私が全部贖おう。」

これが良い知らせです。これはローマ6:23です。

“罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”（ローマ6:23）

エペソへの手紙2:8-9は、有名な聖句です。

“あなた方は、恵みのゆえに信仰によって救われたのです。それは自分自身から出た事ではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。誰も誇る事の無いためです。”（エペソ2:8-9）

もし、私達が救いのために、何かをしなければならなかった場合の天国を想像できますか？我々が天国に行くと、こんな風に「あなたは、どうやってここに来たの？」「へえ、そうなの？大した事ないね」「俺はこんな事をしたんだよ」天国で、自慢し合う？そんなもの、天国ではありませんよ！そんな場所に私は行きたくありません！そこに行くために、自分たちがした事を、自慢し合うような場所？誰も、何も自慢しません。自慢するのは、ただイエスにおいてのみです。これは、賜物なのですから。彼が支払ってくださった。私達には、無償です。彼

のすべてが犠牲になったのです。彼が、いのちをもって贖ってくださったのです。全額、私達のために、私達の代わりに。

次に、Bです。

### B=Believe/信じる

イエス・キリストが主であると、心で信じる。これは、ものすごく良い知らせですよ。皆さん、良かったと思いませんか？救われる為に、量子物理学を知らなくても良いのです。さっきも言いましたが、私はふざけるつもりはありませんよ。しかし、私は終わっているのです。私は、数学は苦手でしたから。代数のクラスを取ろうとしたのですよ。

「救われるためには、何をしなければなりませんか？」—「量子物理学を知らなければなりません！」そうですか…剣はどこですか？私は終わりました。今すぐ殺してください。

ローマ 10:9-10にはこうあります。

*“もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10: 9-10)*

救われるかも？ではなく、きっと救われる、でもなく、救われるでしょう、でもなく、**救われる**のです。これは第一コリント人への手紙 15:2 の福音です。キリストは、聖書の示すとおり、私達の罪のために死なれ、また、葬られ、また3日目によみがえられた事を信じる。心で信じるのです。最後にCです。

### C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める、もしくはあなたの口で告白する。なぜそれが大切なのか？ローマ 10:9-10に書いてある事を、また見てください。

*“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、——”*

ところで、年がばれますが、私の年代のみなさん、1960年代とか70年代の、オイルフィルターのコマーシャルを覚えていらっしゃるでしょうか？こんな事を言っていましたよね？「今払うか？後で払うか？」この考え方は、実に聡明ですよ。つまり、後でお金を払って、エンジンを丸ごと取り替えるか、もしくは今、このオイルフィルターのお金を払うか、どちらかだ、と言うのです。今か、後かのどちらかだ、と。中には、言っている事が良くわからないと、いう人もいますが。

これを言おうとした理由は、あなたも、今か、後かに、告白しなければならないのです。聖書に書かれてありますから。全てのひざがかがみ、そして、すべての舌が、**全ての舌です！それが、イエス・キリストが主である、と告白する。**(ピリピ 2:10-11) **あなたが、いまするのか、後であるかのどちらかです。ちなみに、今したほうがずっと良い！**とりあえず言っておきます。何度も言いますが、ふざけるつもりはありませんよ。

*“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10: 9-10)*

そして最後が、ローマ 10:13です。これで契約成立と見て、そういうのが私はとても好きです。

*“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」”(ローマ 10:13)*

以上です。「それだけ?!」そうです。「すごくシンプルですね？」そうですよ。「それでは、簡単すぎますよ。」いいえ。「ただほど怖いものはない！」と私たちは言います。それに関しては、私は分かりませんが。私が知っているのは、神の御言葉の権威によって、永遠のいのちという、無償の賜物というものなら、求めれば頂けますよ。ヤコブはこう書いています。

“あなた方のものにならないのは、あなた方が願わないからです。” (ヤコブ4:2)

祈りましょう。

天のお父様。感謝します。最後に、この静けさの中で、お聞きしたいと思います。私には、手が挙がるのを見る必要はありません。神がみなさんの心をご覧になりますから。手を挙げる事に、何も問題はありますが。ただ、お伺いします。もし、今までに一度も、主の御名を呼び求めた事のない人、口で告白し、心で信じた事のない人は、どうか今、ここでそれをしてください。この瞬間に。私が、これを本気で言っている事は、主をご存知ですが、なぜ、先延ばしにするのですか？あなたの人生で決断する、もっとも重要な事です。永遠のいのちの為です。これまた、これにも何の問題はありませんが、人のあとに続いて復唱する、魔法の祈り。何度も言いますが、それに関して、何も問題はありませんよ。ただ、どうかみなさんをお願いします。今日、この教会を出る前に、主の御名を呼び求めて下さい。そして、ここをでる前に、その事を、誰かに伝えていただけませんか？そうすれば、私達もあなたと一緒に喜ぶ事が出来ますから。フェローシップホールに行って、パンを裂き、話をしたり、あなたについての話を教えてください。昨日、あの警報が鳴った時、あなたはどこに居たのか？もし、今日があなたの救いの日なら、私達はただ、あなたと一緒に喜びたいのです。

最後にもう一つ。次に、私達、主と共に歩んでいる者に対してです。中には、私と同じように、長年歩んでいる人もいるでしょう。これは私も含めて、私達全員に対する、大音量の警告だと思うのです。今こそ、真剣になる時です。いい加減な事をしている暇はありません。教会ごっこをしている暇がないのは、確実です。これは現実ですよ。しかも、事態はもっともっと現実味を帯びて来ます。今日、ここに居る人の中には、もしかしたら、主からの、聖霊の洗礼と、聖霊の満たしが必要なのかも知れませんが、あなたの人生の中に、聖霊の力が足りないのかも知れません。なら、あなたが聖霊で満たされる為に、聖霊の洗礼を求めれば良いのです。溢れるばかりに満たされて、あなたの人生が、生ける水の激流のように、パワフルな激流のようになるでしょう。私達の一人ひとりが、今日、この教会を出る時には、入って来た時とは、変えられていますように。主よ。感謝します。昨日、これが起こることを認めて下さり、ありがとうございます。主よ。これをきっかけに、多くの人をあなたの元に立ち返らせてください。イエスの御名によって。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

**「きょう、もし御声を聞かば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」**  
ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>  
Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい